



兵庫県立明石南高等学校  
77 回生年次通信 No.46  
2023 年 7 月 20 日発行

## 高校生活 8 学期のうち 4 学期が終わりました

年次主任・藤田 裕之

今日で 1 学期が終わります。高校生活は 3 年間で 9 学期ありますが、3 年次の 2 学期末考査で定期考査は全て終了し、3 学期は入試や自主登校期間などでほとんど授業はありません。実質 8 学期しかありませんので、77 回生の皆さんの高校生活は今日で半分終わったこととなります。皆さんは高校生活の折り返し地点に立っていますが、入学から今日まで、どのくらい自分を成長させられたでしょうか。高校生活後半も引き続き、明南でしっかり自分磨きをして下さい。そのためにも明日から始まる夏休みを充実させてほしいです。それではいくつかの項目に分けてお話を続けます。

### ◆ 3 つの『ことなり』は全て〇が付きましたか

学期末の年次集会の度に私は皆さんに以下の 3 つの『ことなり』が出来たかどうか〇×で自己採点してもらっています。今学期は 3 つとも〇がついたでしょうか。

- ・『異なり』⇒ 違いを認める ⇒ いじめのない高校生活
- ・『殊なり、個となり』⇒ 個性を磨く、得意技を身につける
- ・『事成り』⇒ 目標を達成する

これらは充実した学校生活を送るうえで常に意識して取り組んでほしいことです。今まで出来なかったことができるようになったり、さまざまな挑戦をして大会で表彰されたり、資格を取得したり、これからも目標を持って頑張ってください。

### ◆ 1 学期成績について

高校を卒業するためには単位の履修（＝授業に出席すること）と単位の修得（＝合格点を取ること）が必要です。昨日成績会議がありましたが、今学期は欠課時数超過の人が 20 名近くいました。また、欠点がついた人も 10 名以上いました。そのうちの何人かは複数の科目で欠点がついています。非常に残念な結果でした。欠課時数超過者および欠点者は単位の履修と修得の見込みが立たない状態です。年次通信『ことなり』でも毎月の出欠状況をお知らせしましたが、1 学期は欠席・遅刻・早退が非常に多かったです。当然授業を抜けることが増え、成績にも悪影響が出ているはずですが。授業内容は 1 年次より難易度が上がり、私たちが皆さんに要求するレベルも上がっています。皆さんがついて来られるように自分の生活や学習への取り組みを改善していく必要がありますよ。

### ◆ 夏休みこそ主体的な学びを

皆さんの年次から観点別評価が導入されました。私たちもずっと慣れ親しんだ評価方法からガラリと変わり、試行錯誤を続けています。特に「主体的に学びに向かう姿勢」（以下「主体性」）を評価するのが大変難しいと感じています。私が担当する英語を例にあげると、1 年次では主に提出物で「主体性」を評価していましたが、2 年次からは提出物に加えて課題考査、英単語帳 LEAP や Next Stage の小テスト、といった皆さんの家庭学習での主体的な努力をかなりの割合で評価対象としています。夏休みの課題にしっかり取り組み、課題考査で得点につなげることが重視されますので、計画的に学習に取り組んで下さい。

### ◆ スマホの取り扱いには十分注意して下さい

1 学期後半からスマホ使用違反が頻発しました。度重なる違反や、授業中の LINE 等悪質な場合は保護者にも来校していただいて嚴重注意をしました。授業中も必要な場面では先生の指示のもとスマホを使用することが出来ますので、皆さんには正しい状況判断と、使用不可の場面では「我慢する」ことの大切さを意識してほしいと思います。

### ◆ 皆さんへの宿題です ⇒ 植松電機・植松努氏について調べよう

昨年度も私から夏休みの宿題を出しました。講演家の中村文昭氏の YouTube での講演を聴いて感想を書く、という宿題でした。皆さんの何人かはスコラ手帳に感想を書いてくれました。

修学旅行初日の午後は赤平市にある植松電機を訪問し、植松努社長の講話を聴き、モデルロケットを制作します。植松電機訪問については、私が特にお願いして旅行行程に組み入れてもらいました。植松努氏は講演家としても非常に有名な方で、『思うは招く』というテーマで全国各地を飛び回って講演活動をされています。兵庫県内のいくつかの高校でも講演をされています。

今年度は植松電機と植松努氏について調べておくことを私から皆さんへの夏休みの宿題にしたいと思います。年次通信『ことなり』紙面ではあえて紹介しませんが、植松氏には著書もあり、YouTube で講演を聴くことも出来ます。私は他県の卓球部の顧問の先生からいただいた講演 CD で植松氏と出会い、YouTube でも繰り返し講演を聴いています。植松氏のお話を聴いて、学校の先生としてのあり方についても私自身深く考えさせられ、勉強になりましたので、今回直接お話を聴くのを非常に楽しみにしています。なぜ修学旅行で植松電機を訪問するのか、なぜ植松努氏の講演を聴くのか、なぜロケットを制作して飛ばすのか、自分なりに考えて植松電機での体験プログラムに参加して下さい。



## 課題研究に向けて

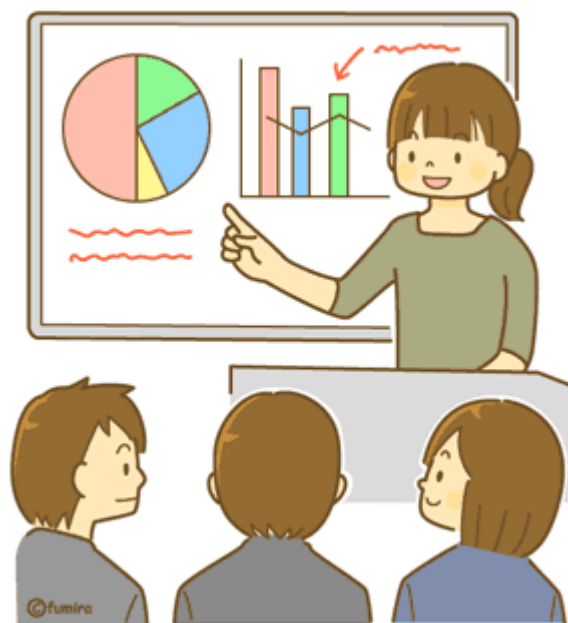
総合担当・鈴木 祐大

1学期の総合、おつかれさまでした。ディスカッション、ポスターセッション、この前の講演と、いかがでしたか？良い経験になったでしょうか。

さて、今後の総合は「課題研究」のフェーズに進んでいきます。すでに皆さんは担当の先生方との面談を経て、ある程度の問いが立てられているはずですね。その問いを出発点に、その問いに対する仮説を立て、フィールドワークで実証して結論を導き出すという「サイエンス（科学）」の過程を体験します。難しそう？面倒そうですか？その感覚、正解です。これから研究を進めていくにつれて、その難しさ、面倒さはより増していくでしょう。しかし、それこそが課題研究の狙いです。

コロナの混乱もすっかり落ち着いてノーマスクの場面もよく目にするようになりましたが、皆さん、コロナ禍のこと覚えていますか？コロナ騒動の最初期、2020年2月には「コロナ禍でトイレットペーパーが不足する」という情報がSNSで拡散され、同年4月までトイレットペーパー不足が続きました。他にも「スマホの5G電波がコロナウイルスを活性化させる」「お湯でコロナ予防」「ショウガがコロナに効く」などなど。結論を言えば、すべてデマでした。しかし我々はそういった情報が正しいのか正しくないのか、どのように判断するのか。その判断基準の一つが「科学的かどうか」です。つまり皆さんがこれから苦勞して進めていく「課題研究」は、あることを「正しい」と言い切るために必要なことを知る学習であると言えます。それは難しいでしょう。面倒でしょう。上手く行かないかもしれません。しかし、少なくとも苦勞した分だけ、「正しい」と言い切るためには大変な思いをしなければいけないんだ、ということを実感していくはずですよ。

「〇〇は正しい」「正しいのは〇〇だ」という断定的な物言いが飛び交う現在、「正しい」というために重ねなければならない苦勞の総量を知っている事は、デマに踊らされないために重要なことです。この人はそれを正しいというけれど、それに見合う実験や検証をしているのかな？そういった疑問を持てること、それはまさに皆さんの「生きる力」になっていくでしょう。総合ではまだまだ無茶ぶりが続きますが、めげずに、友人と支え合って進めていってください。



## 課題考査時間割

9/4（月）に2学期課題考査が行われます。好結果が出るように夏休みの課題に主体的に取り組みましょう。

### 【時間割】

- 1限 論理国語・古典探究
- 2限 英語
- 3限 コース①②は数B / コース③は数II / 簿記の人は授業
- 4限 世界史 / 日本史 / 化学

## 2学期の主な行事予定

- 9/ 1（金）始業式等、英検申込み（10:00～10:35の予定）
- 4（月）課題考査、PM通常授業
- 11（月）3限 修学旅行結団式
- 4限 LHR \*この日は午前中授業
- 12（火）～15（金）修学旅行
- 10/ 4（水）体育祭予行・予選
- 5（木）体育祭
- 8（日）英検一次試験
- 19（木）～25（木）中間考査
- 28（土）ベネッセ総合学力テスト
- 11/ 5（日）英検二次試験
- 7（火）・8（水）オープンハイスクール
- 12/ 6（水）～12（火）期末考査
- 22（金）終業式